

碧南市保健センター運営協議会 議事録

1 日時

令和7年8月5日（火）午後1時30分から午後2時15分まで

2 場所

碧南市役所 7階 議員大会議室

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者（11名）

原田孝司、長田和久、楡 孝子、西中康人、小林 学、杉浦時雄、杉浦龍一
近藤良伸、小田直樹、吉原直希、沢井智美

欠席者（4名）

岡村 誠、宮地秀憲、石川 徹、伊藤康德

(2) 事務局職員

こども健康部長 深津広明

健康課長 石川 麻子

庶務係長 星野陽子 庶務係主査 角谷健二

成人保健係長 若林美代子

課長補佐兼母子保健係長事務取扱 杉浦あゆみ

4 傍聴者（0名）

5 協議事項

(1) 令和6年度事業結果について

(2) 令和7年度事業概要について

(3) へきなん健康づくり21プラン（第二次）の最終評価について

(4) いのち支えるへきなん計画（第2次碧南市自殺対策計画）の進捗状況について

(5) その他

6 議事の要旨

(1) 令和6年度事業結果について（資料1）

事務局が会議資料1に基づき、保健センター事業の令和6年度事業結果について説明した。

委員A：8020 歯科保健運動の達成者率 15.6%は、受診しなかった人を含んでの

達成率か？

事務局：受診しなかった人を含んだ全体の率となっている。

委員A：受診しなかった人を含んでしまうと、達成率が下がってしまう。愛知県全体では、受診者数の内の達成者としているため、60%くらいと高くなっている。表現の仕方をかえてみてはどうか。

事務局：次から変更する。

委員B：特定健康診査の受診者数は7,455人とのことだが、対象者全体の人数は何人くらいで受診率はどれくらいか。

事務局：受診率は国保加入者で44.6%、後期高齢者で46.3%

委員B：受診率が低いように感じられる。なぜ、受診しないのか。

事務局：受診しない理由としては、医療機関受診中であることが考えられる。コロナ禍で減少した受診率は現在、戻ってきている。碧南市の受診率は愛知県内では高いほうではあるが、目標値である6割は達成できていない。

委員C：いきいき健康相談、介護予防サポーター養成講習会、傾聴ボランティア養成講習会の参加人数が少ないようだが、もっと参加者を増やすためのPRや他の事業へ変更するなど対策はあるか。

事務局：健康相談事業については、随時相談を受けているため、いきいき健康相談としての利用者は少ない。介護予防サポーターや傾聴ボランティアについては、言われるとおり少ないため、引き続きPRしていく。

委員C：いきいき健康相談はなくてもいいのではないか。

事務局：定期的に相談の場を設けることにより、利用する方もみえる。

その後、質疑はなく、全員挙手により事務局案が承認された。

(2) 令和6年度事業概要について（資料2）

事務局が会議資料2に基づき、保健センター事業の令和7年度事業概要について説明した。

特に質疑はなく、全員挙手により事務局案が承認された。

(3) へきなん健康づくり21プラン（第二次）の最終評価について（資料3）

事務局が会議資料3に基づき、へきなん健康づくり21プラン（第二次）の最終評価について説明した。

特に質疑はなく、全員挙手により事務局案が承認された。

- (4) いのち支えるへきなん計画（第2次碧南市自殺対策計画）の進捗状況について（資料4）

事務局が会議資料4に基づき、いのち支えるへきなん計画（第2次碧南市自殺対策計画）の進捗状況について説明した。

特に質疑はなく、全員挙手により事務局案が承認された。

- (5) その他

特になし